創立130周年 主な 直近10年の出来事

2026年5月1日、当社は創立130周年を迎えました。
これはひとえに、皆さまからの長年にわたるご厚情とご支援の賜物と、心より深く感謝申し上げます。
ここでは、130年の歴史から直近10年をピックアップし、その中で起きた主な出来事をご紹介します。

2016



那須工場に実流量校正設備竣工

国内最大級の規模を持つ流量計向け試験設備

2018

第10代社長に安藤 毅が就任

開発、海外勤務、営業を経験。
その後、子会社社長や取締役社長室長を歴任した

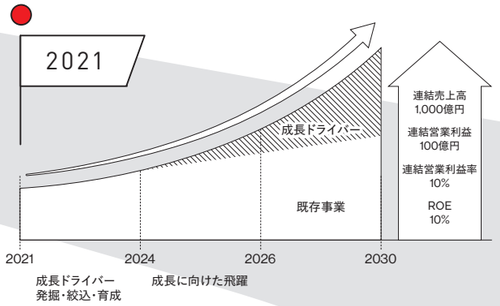


2021

東京計器ビジョン2030策定

水素・再エネプロ、エッジAIプロ発足

「東京計器ビジョン2030」の成長ドライバー実現に向け、
水素・再エネプロジェクトやエッジAIプロジェクトを新設した

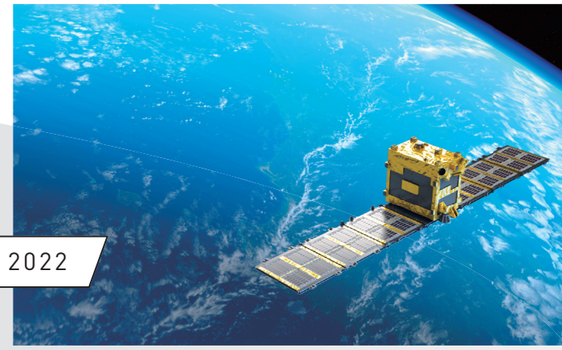


2022

宇宙プロ発足

Synspectiveとパートナーシップを締結

宇宙プロジェクトを新設。同年、株式会社Synspectiveが
小型SAR衛星量産工場のパートナーに当社を選定した



©Synspective Inc.

2023

那須工場に宇宙棟竣工

小型衛星の複数生産のため、
大型のクリーンルームが設けられている



2024

那須工場に防衛管理棟竣工

防衛事業における増産へ向けた生産場所の確保や
新製品開発の対応などを目的に新設された



2026

本社移転

羽田へ移転した本社のエントランスの様子。
温かみのあるデザインで活発な交流を目指している



当社は、次の100年も社会から必要とされる企業であり続けるため、受け継がれてきた「挑戦の風土」を土台に持続的な成長と社会への貢献を両立させてまいります。

なお、130周年を記念した周年誌を発行する予定です(2026年冬予定)。発行に関する詳細は、東京計器Webサイトにて改めてご案内いたします。